



読者調査連動シリーズ企画

# 「製造現場におけるデータ活用の実態調査」

お申込締切

プラチナ/ゴールドプラン：2022年9月7日（水）

シルバープラン：2022年9月22日（木）

アンケート実施予定：2022年9月上旬～9月中旬

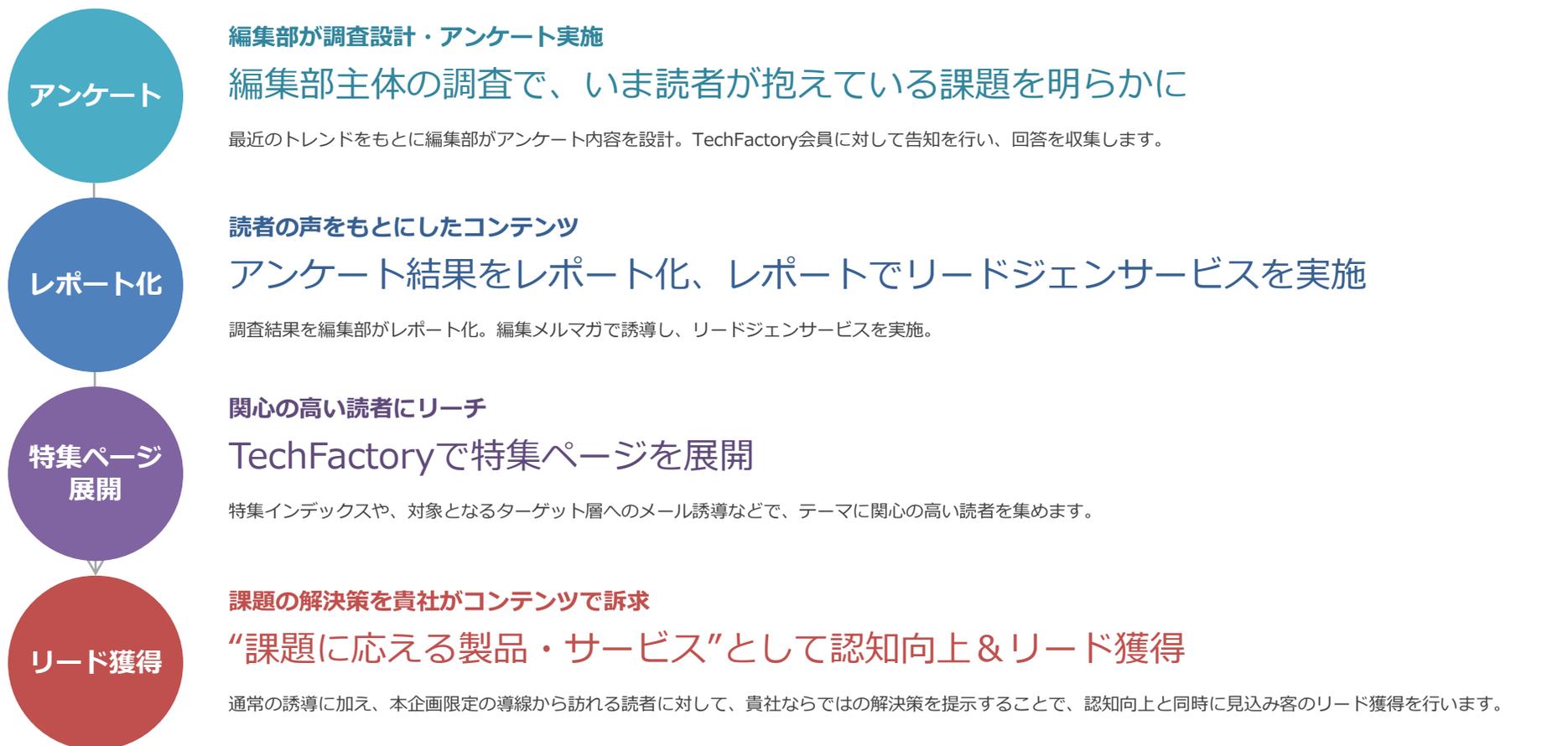
特集期間：2022年10月24日（月）～12月23日（金）



## 読者調査連動シリーズ企画 ～ 製造業の現場で起きている課題と、その解決策

本企画は、TechFactory編集部がテーマを変えて実施する読者調査と連動した広告特集です。協賛企業様には、特集ページへのコンテンツ掲載、並びに調査レポートからの誘導など「課題に応える製品・サービス」としての認知向上と、リード獲得を実現することができます。

### 企画の流れ





## コンテンツなしでもリード獲得可能

アンケート結果をレポート化。そのレポートでリードジェンサーサービスを実施。  
**製造業向けのコンテンツなし**でも興味・関心の高いリード取得が可能です。



## 調査レポートからの誘導

編集メルマガによる特集告知・調査レポートへの誘導を実施。  
編集部作成の**調査レポートからの貴社コンテンツ誘導**も実施いたします。



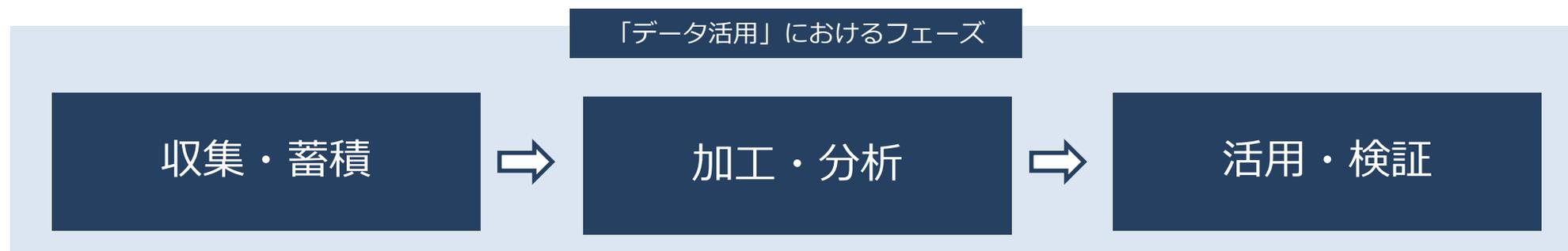
## お得なプラン

**最大90万円OFF**のプランをご用意。  
本企画限定の特別価格でご提供いたします。

## 現場でのデータ活用の取組段階、成果の有無、課題など実態を調査

製造業のモノづくりに従事する方を対象に、製造現場でのデータ活用の実態調査を実施いたします。データ活用の取り組みの状況や、対象範囲／規模感、期待する成果を得られているかなど現場でのデータ活用の現状を調査いたします。

また、データを活用し成果を得るための課題感を、データの収集・蓄積→分析・活用などの各フェーズごとに調査することで、製造現場におけるデータ活用のリアルな課題、現状を浮き彫りにします。



# アンケート項目（案）

## ■ 製造現場におけるデータ活用の主な目的・期待する成果について教えてください。

生産性の向上  
品質の向上  
コスト削減  
不良品ロスの削減  
自動化  
標準化  
トレーサビリティの確保  
働き方改革  
技術伝承  
省人化  
人的ミスの軽減  
人手不足の解消  
需要予測  
稼働状況の見える化  
ボトルネック工程の特定  
故障予知  
不良予測  
ラインやロボットの制御／最適化  
デジタルツインの実現  
ペーパレス化  
省エネエコ  
作業者の安全確保／事故防止  
工場運営の最適化  
経営スピード（意思決定）  
分からない、その他（ ）

## ■ 製造現場におけるデータ活用について、データの収集・集積において課題と感じていることを教えてください。

集めるべきデータの選定方法が分からない  
どのようにデータを収集すべきかが分からない  
IoT・センシング機器など、データ収集システムの導入コストが高い  
集めたデータの保存先・保存方法の選定  
セキュアなデータ管理・セキュリティ対策  
データ収集に必要な工場内ネットワークの構築  
装置や設備が古くてデータを取得できない  
設備や機器ごとに通信プロトコルが異なる点  
設備や機器ごとにデータ項目／フォーマットが異なる点  
データ同士の関係性やつながりの理解  
分からない、その他（ ）

## ■ 製造現場におけるデータ活用について、データの分析・活用において課題と感じていることを教えてください。

2次元から3次元への移行が完了している  
データを分析できる状態に加工する工数  
目的に対する最適なデータの分析方法の選定  
分析結果の正しさ・確からしさの判断  
分析結果を社内でうまく活用できない  
データの分析に必要なツールの導入コスト  
データ分析を行う専門人材の不足  
分からない、その他（ ）

## ■ 製造現場におけるデータ活用で成果を出す／期待する効果を得るために必要だと思うことは何ですか？

組織全体として取り組むこと  
目的意識の共有／ゴール設定  
関係者との合意  
経営層の理解と協力  
予算の確保  
専門チームなどの体制整備  
情報システム部門との連携  
ルール作り  
装置や設備の刷新  
設備や機器ごとに異なる通信プロトコルをつなげる仕組み  
設備や機器ごとに異なるデータ項目／フォーマットの整備  
ネットワーク環境の整備／構築  
SIerやコンサルタントなどの外部の協力  
効率的なデータ収集  
セキュアなデータ管理  
AIなどを活用した高度な分析  
データサイエンティストなどの専門家／人材  
エッジコンピューティングなどの導入  
BIツールなどの導入  
システム導入／構築  
外部のITソリューションやIoTプラットフォームなどの活用  
PoCの実施／検証  
小さな成功を積み重ねる  
クラウドの活用  
セキュリティ対策  
分からない、その他（ ）

※アンケートの設問は、予告なく変更となる場合がございます

## 特集ページ展開

- 編集メルマガで特集告知
- バナー広告による特集告知

編集部が作成した調査レポート、並びに貴社コンテンツを特集インデックスページに掲載します。編集メルマガでの特集告知、TechFactory上でバナー広告を掲載することで製造業読者に広く特集を告知いたします。



特集ページイメージ

テーマに関連する編集記事

バナー広告

PDF版調査レポート

貴社コンテンツ紹介

活発に情報収集する読者へのメール配信

## リード獲得

- 調査レポートによるリード収集
- 貴社コンテンツによるリード収集

「調査レポート」もしくは貴社コンテンツを用いて、テーマに則した読者を対象としたリードジェネレーションを実施します。

## 調査レポートイメージ



貴社コンテンツイメージ

# ① プラチナ/ゴールドプラン限定特典

## 特集ページにロゴ掲載

特集ページ イメージ



## 調査レポート閲覧ページに ロゴ掲載&コンテンツ誘導枠

調査レポート イメージ



テーマに関心の  
高い会員を誘導

貴社コンテンツ イメージ



# ② プラチナ/ゴールドプラン限定特典 (タイアップ記事に限ります)

## MONOist トップページ / 記事ページから、 MONOist 読者を貴社タイアップ記事へ直接誘導



### 貴社コンテンツイメージ



# 調査レポートでのリード獲得について

## 調査レポートを閲覧したテーマに関心の高い会員のリードを獲得

調査レポートを閲覧する=何かしらの課題意識を持って情報収集を行っていると考えられます。特定のプランにご協賛いただくと、PDF版の調査レポートを閲覧した、テーマに関心の高い会員のリード情報をご提供します。

### ダウンロード前アンケート

調査レポートをダウンロードする前に、アンケートに答えていただき、リードの付加情報としてご提供させていただきます。

#### 設問例

- 調査資料の閲覧目的
- 製品導入に関わる立場
- 現在抱えている課題

設問は当社にて設定させていただきます。集合型広告企画のため、個別のご要望には対応いたしかねますので、あらかじめご了承下さい。

### パーミッションの取得

ダウンロード時に、個人情報提供のパーミッション取得を行います。

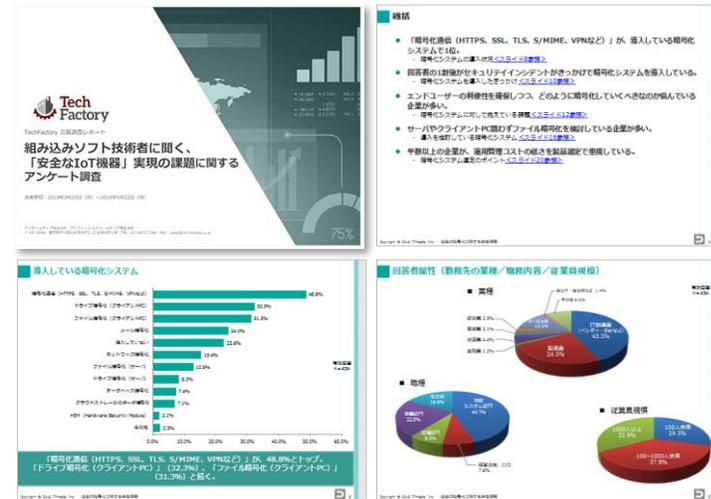
パーミッション文は複数社様の連名になります。集合型広告企画のため、個別のカスタマイズには対応いたしかねますので、あらかじめご了承下さい。



PDF版調査レポート ダウンロードページ

### PDF版調査レポート

アンケートに回答し、個人情報の提供に同意した会員は、調査レポートをPDFでダウンロードすることができます。



### ダウンロードした会員のリード情報



レポートを閲覧した会員のリード情報をご提供いたします。なお、複数社様に協賛いただいた場合は、同じリード情報を全社でシェアする形となります。また、リード情報の納品は、企画終了後となります。

# スポンサープラン

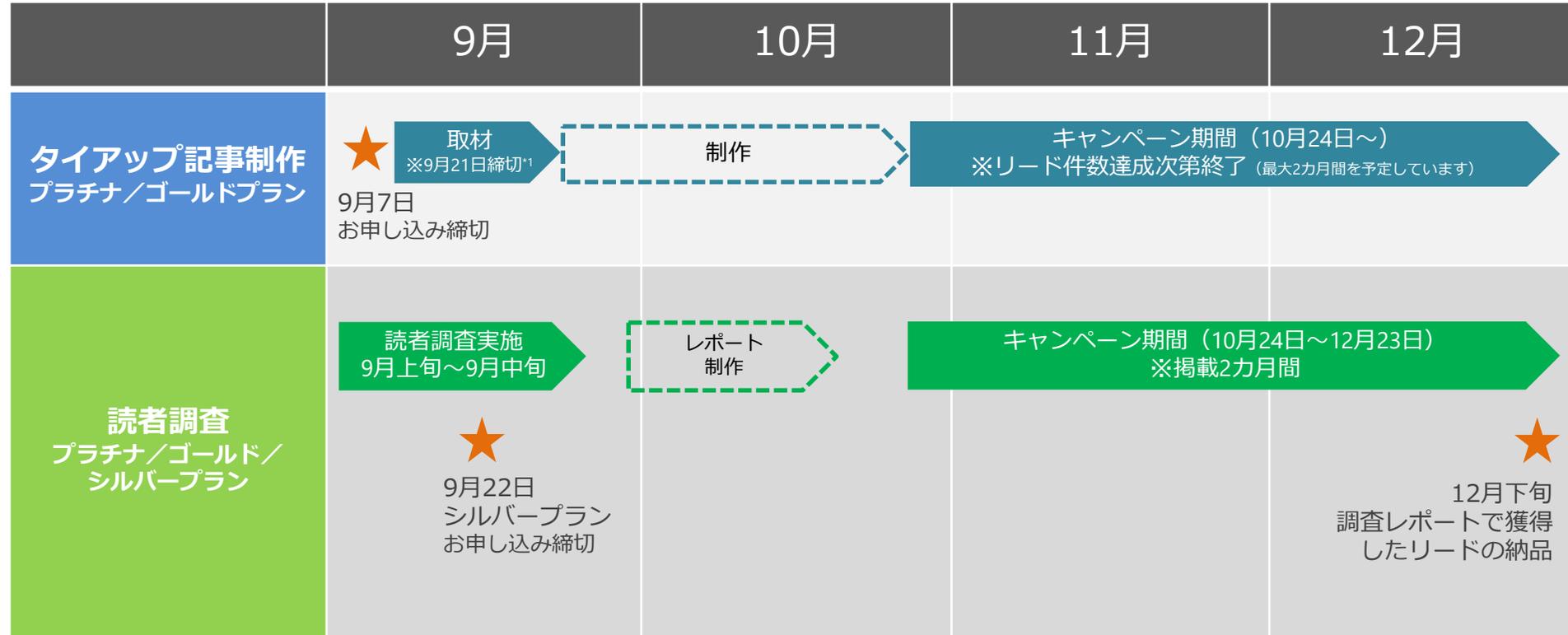
ご提供内容	プラチナ	ゴールド	シルバー	備考
① 貴社コンテンツ リード獲得保証件数	150件	80件	—	属性はセグメントなしになります。 セグメント指定など、プランのカスタマイズは担当営業までご相談ください。
タイアップ	1本	1本	—	
ホワイトペーパー ※お手持ちのコンテンツのご用意をお願いします	1本	—	—	ホワイトペーパーをお持ちでない場合、別途費用が発生しますが制作プランがありますので、担当営業までご相談ください。
② 調査レポートでの リード獲得想定件数	60~100件	60~100件	60~100件	属性はセグメントなしになります。 プランのカスタマイズは対応致しかねます。
③ 企画特典				
特集ページから 貴社コンテンツへの誘導	○	○	—	
編集メルマガでの特集告知	○	○	○	
提供リード数合計 (①+②)	210~250件	140~180件	60~100件	
スポンサー料金	¥1,900,000 (90万円OFF)	¥1,500,000 (60万円OFF)	¥300,000 (20万円OFF)	(税別、グロス)

## ■ お申込み締切

プラチナ/ゴールドプラン : 2022年9月7日 (水)  
 シルバープラン : 2022年9月22日 (木)

※ 協賛企業の状況により実施しない可能性があります  
 ※ 企画開始後のご協賛も可能ですが、開始時期によってご提供できないメニューがある可能性もございます。

# スケジュール



\*1 お申し込み締切間近でのご協賛の場合、取材候補日は事前にご連絡お願い致します。9月21日までに取材を行えない場合、10月24日の掲載に間に合わない可能性がありますので、ご了承ください。  
 ※ 読者調査の回答状況により、キャンペーン日程が変更になる可能性がありますので、ご了承ください。

# 参考：製品レポート コンテンツサンプル

編集部によるインタビューや外部アナリストによる解説を交えたコンテンツを制作することで、本企画との連動感を高めることができます。企画／制作は編集部にお任せ下さい。

## 貴社製品ご担当者様インタビュー

**ILD Cloud Service:**  
**設計・解析現場のフロントローディング実践をCAEクラウドが救う**

設計・解析現場では、CAEを活用したフロントローディングによる品質の早期作り込みが進められているが、本業である設計・解析業務以外の「システムの管理」が現場担当者に大きな負担を強いているケースも少なくない。この課題を解消する手段として期待されているのが、CAEクラウドサービスの活用だ。

旧来の「コスト削減」や「持たない経営」との強化というより積極的な目的のために、製造工程の上流に位置付けられる設計・解析レーションへの要求レベルがこれまで以上に高まる環境のパフォーマンスや柔軟性に関する課題を十分に覆えたIT人材の不足も相まって、本業である設計・解析業務に集中できる企業は少ない。

しかし、現場に目を向けると、実際にどこか、その選択に悩む企業も少なくない。事実、高品質シミュレーション要求に見合うクラウド設計・解析部門が独自で進めるには仕様のミスマッチやシステム部門主導による、設計・解析者の意図が「いきなり」のクラウド導入だけでは絶対に避けられない。

ここでは、多くの設計・解析現場で導入されて紹介するとともに、製造業におけるクラウド「競争力の強化」がこれまで以上に困難な理由を解説する。

SRP ビジネスインベション本部 セールスマネージャの高野和吉氏

SRP ビジネスインベション本部 セールスマネージャを務める高野和吉氏は、「近年、高性能かつ多機能な製品開発が増え、CAEツールで実行すべき解析モデルが非常に大きくなってきています。その結果、解析時間が長くなり、コストの膨大化や納期の長期化を招いています」と指摘する。

**高まるクラウドへの期待。CAEクラウドサービスの利点とは？**

大規模な解析が必要であれば、計算機（コンピュータ）のパワーを増強する他ない。しかし、どこまでコンピュータリソースを拡張すればよいのか、どうやって適正化すればよいのか、設計・解析者がそれを判断するのは極めて困難だ。また、システム選定やメンテナンス作業などを、設計・解析業務を本業とする現場担当者に行わせることが、単なる負担としてだけでなく、重要な製品開発そのものにも影響を及ぼすということを十分に理解しておく必要がある。

参考) 日本アイ・ビー・エム株式会社様

**4つのあるある課題を解消する“オンリーワン”な設計環境**

「ライセンス費を抑えながらも業務に適した専門機能を欲しい」「CADデータの可用性を高め設計作業を効率化したい」「異議のやりとりの手間を軽減したい」「AIがみんなに2D設計から3D設計へ移行したい」——。そんな設計部門のあるある課題を解決する“オンリーワン”な設計環境とは？

ご自身が所属する、あるいは準の設計部門から、以下のような悩みを聞いたことがないだろうか？

- 業務に適した機能を使いたい専門ツール（オプション機能）などを別途購入する余裕はない。また、時期によりCADオペレーターの数も変動するため、ツールのライセンスが足りなくなるときもあれば、逆に余るときもあり非常にムダを感じる。
- CADデータの可用性を高め、場所にとらわれないが、USBメモリでの運用ではCADデータの管理が難しい心配だ。
- 他部門や協力会社などと頻りに画面のやりとりによって変更されたのかを確認するのが大変だ。
- そろそろ2D設計から3D設計へと移行したい。できれば、今の2D資産を有効活用

モノづくりを取り巻く環境が大きく変化する中、

オートデスク 技術営業本部 デジタルスペシャリストの大浦誠氏

一方、電気制御設計ソリューションの「AutoCAD Electrical」では、電気制御設計に必要なシンボルが用意されている他、回路図の情報から機器配置図を作成する専用機能なども備えている。「いずれも、AutoCAD単体で作図するよりも格段に作業を効率化できる」（大浦氏）という。

さらに、その他のオートデスク製品を含めた本格的な環境として、業界別コレクションも用意。例えば、製造業向けであれば、製品設計、製造プロセス、工場レイアウトなどが可能な「Product Design & Manufacturing Collection」を提供しており、AutoCADはもちろんのこと、「Autodesk Inventor Professional」や「Autodesk Fusion 360」など、豊富なツール群を利用できる。

ご存じの通り、オートデスク製品は全てサブスクリプション方式で提供されているため

参考) オートデスク株式会社様

実施月	テーマ
	4月 研究・開発職のデジタル活用調査
	7月 つながる工場（製造IoT）
	7月 CAD利用動向調査
2022年度	10月 設計製造の品質管理
	10月 3Dプリンタ利用動向調査
	10月 製造現場におけるデータ活用の実態調査
	1月 モノづくり設計者のワークスタイル

※ テーマ、スケジュールは現時点での予定となり、変更になる場合もございます。  
※ 各テーマごとに企画書をご用意しております。詳細は担当営業までお問い合わせ下さい。



お問い合わせ

アイティメディア株式会社

営業本部

Mail : [sales@ml.itmedia.co.jp](mailto:sales@ml.itmedia.co.jp)

会員プロフィールや特集予定、お問い合わせはこちら

<http://corp.itmedia.co.jp/ad/>

